

令和2年度第2回坂戸市総合教育会議議事録

会議の名称	令和2年度第2回坂戸市総合教育会議	
開催日時	令和2年12月24日(木)	開会：午後3時30分 閉会：午後4時11分
開催場所	坂戸市役所 201会議室	
出席者	構成員	○坂戸市長 石川 清 ○教育委員会 教育長 安齊 敏雄 教育長職務代理者 小川 一信 教育委員 蓼沼 康子 教育委員 松井 正樹 教育委員 毛利 陽子
	事務局等	○会議の事務局(教育委員会) 教育部長 清水 満夫 教育部長 谷口 義明 次長兼社会教育課長 岡田 全弘 副参与兼図書館長 近藤 猛 教育総務課長 岡本 行弘 学校教育課長 小峰 大吾 教育総務課副課長 加賀谷 順子 学校教育課副課長 新井 藤子 教育総務課課長補佐 新井 武大 教育総務課係長 小林 克至 教育総務課係長 藤野 陽介 ○市長部局 総合政策部長 楠本 圭司 次長兼企画調整幹 石坂 知巳 政策企画課長 鈴木 貴之
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 協議事項 (1) 坂戸市教育大綱の計画期間延長について (2) 学校プールについて (3) その他 4 その他 5 閉会	
傍聴者	1名	

発言者	発言内容
事務局	<p>ただ今から、令和2年度第2回坂戸市総合教育会議を開会させていただきます。はじめに、石川市長より御挨拶をお願いいたします。</p>
市長	<p>本日は、令和2年度第2回総合教育会議を招集させていただきましたが、お忙しい中ご参集いただき、ありがとうございます。</p> <p>今回は、令和2年度になりましてから第2回目の総合教育会議となります。</p> <p>本市教育行政の様々な課題を今後も、教育委員会と連携して、教育行政を推進していくため、有効的な会議にしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>本日の会議では、教育大綱及び学校プールについて、ご協議いただきたいと考えております。</p> <p>教育行政における重要課題でありますので、慎重審議賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、安齊教育長より御挨拶をお願いいたします。</p>
教育長	<p>坂戸市教育委員会を代表いたしまして、一言御挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、石川市長におかれましては、公務ご多用の折、総合教育会議を開催していただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議では、教育大綱及び学校プールについて、市長から直接ご意見を賜り、それらを踏まえ教育委員会としても十分協議し、進めてまいりたいと思います。</p> <p>様々な教育課題に柔軟に対応していくには、教育委員会と市長部局関係各課との連携が必要不可欠であると考えています。</p> <p>この総合教育会議を通して、市長と教育委員会との更なる意思疎通を図り、今後の教育行政の推進を図ってまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、議事に入りたいと存じます。議事進行につきましては、坂戸市総合教育会議設置要領第4条第1項の規定により、石川市長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは、次第に沿って進めてまいりますので、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。はじめに、次第3協議事項(1)坂戸市教育大綱の計画期間延長について、を議題といたします。事務局より説明を</p>

事務局	<p>お願いいたします。</p> <p>坂戸市教育大綱の計画期間延長につきまして、御説明を申し上げます。資料の坂戸市教育大綱（案）をご覧ください。本大綱につきましては、本市、市政の最上位計画であります第6次総合振興計画を基本に、令和元年度第4回総合教育会議において、総合振興計画及び坂戸市教育振興基本計画の期間と合わせるように、令和2年度から令和3年度までの2年間を対象期間とし、教育大綱を策定いたしました。今回、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響等により、第6次坂戸市総合振興計画の終期が令和3年度から令和4年度に1年間延長したことを受け、坂戸市教育大綱についても本市の総合振興計画との整合性を図るため、1年間延長し、対象期間の終期を令和3年度から令和4年度に変更しようとするものでございます。次に、別添資料をご覧ください。計画の位置付けを図に示したものとなります。変更した計画期間を赤字に修正してありますので、参考をご覧ください。なお、坂戸市教育振興基本計画につきましても、対象期間の終期を1年間延長とする議案を今後、教育委員会会議でお諮りしたいと考えております。説明は以上です。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>皆さんから、御意見等ございましたらお願いします。</p>
	<p>(なし)</p>
市長	<p>ないようでしたら、以上で終了したいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
	<p>(異議なしの声)</p>
市長	<p>御協議いただきましてありがとうございます。</p>
	<p>今後も本日の協議内容を踏まえ、教育施策を進めていただきますようよろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>続いて、(2)学校プールについて、を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>学校プールにつきまして、御説明を申し上げます。</p> <p>お手元の資料をご覧ください。A3版の資料が4枚でございます。最初に、ここまで検討した結果について報告いたします。資料1ページの上部にまとめさせていただきました。</p> <p>小学校において民間プール施設活用校を選定する。小中の共同利用について研究を進める。この2点です。具体的な対象校は、その下の表にまとめたとおりです。民間活用については、大家小学校、勝呂小学校。共同利用については、浅羽野小・中、南小、千代田中、桜小・</p>

中。他の学校は、改修もしくは現状維持と考えております。順に、この検討結果に至った内容について報告いたします。

1 概要でございます。この内容について、以前から検討を加えてまいりました。平成30年度には、「民間施設等を利用した水泳指導について、地理的条件やプール施設の老朽化の状況などを加味し、総合的に検討を進める」と方向性が出されており、それに基づき、検討を進めました。進めるうえでの利点と問題点について2、3にまとめさせていただきました。4に過去の検討内容をまとめております。①プール整備については、水泳授業は欠くことのできないもののため、財源確保を念頭に計画的な改修工事を行い、整備を進める。②民間設備の活用は全校での実施はできない。教育の平等性からは全校一斉が望ましいが、市内スイミングスクール4校では市内19校すべてを受け入れることは困難です。③民間施設の活用は、中学校での実施はできない。中学校の授業を考えると、1時間ずつの設定であり、この時間内でスイミングスクールを利用することは移動時間の捻出ができないため困難です。また、2時間続きにすると、他教科の時間割に影響が出て、学校全体の時間割の設定が困難になります。次に、予算面について報告いたします。5現状における管理維持費をご覧ください。現在ある学校プールにおける維持費は1校あたり年間約70万円です。また、修繕にかかった費用は、市内全体3年間で600万円です。6スイミングスクールを利用した場合、南小規模で約360万円、上谷小規模で約200万円です。この他に児童送迎用のバス代が必要となります。単純な比較では、現状のプールを維持する方が、経済的負担が少ないこととなります。一方、プールの老朽化が著しくなった場合、改築を行わなければならなくなります。改築を含む費用比較を7に示しました。プールを改築するとなるとプール1つにつき1億5千万円の予算が見込まれます。耐用年数が30年といわれているので、減価償却を考えると1年あたり500万円となり、この額も含めた年間の経費は570万円となります。一方、現在老朽化が激しく、いち早く改築が必要と見込まれる大家小学校と勝呂小学校で、送迎用のバス代も含めスイミングスクール利用を試算したところ、大家小学校で約282万5千円、勝呂小学校で650万円となりました。続いて、3ページをご覧ください。8市内のスイミングスクールの受入れ状況を調べました。各スイミングの午前中の様子は記載の通りです。レッスン業務の有り無しもあり、学校への対応はできなくはないが、事前の調整と、受け入れ規模には限界があるとのことのお話です。また、実際にやったことのない内容なので、見積もりについてもより現実的な設定が示されなければ提示できないとのことでした。学校規模や距離

	<p>を総合的に考えながら、学校選びを行う必要があります。9プールの共同利用です。8までの状況を受け、効果的なプールの維持管理を考えると、隣接している小中学校のプールを共同利用することが有効な手段ではないかと考え、現在研究中です。候補となるのは、浅羽野小・中、南小、千代田中、桜小・中の3小中学校です。今後、更衣室・時間割等の調整について研究を深めてまいります。4ページには、市内小中学校の状況を一覧表にまとめました。5ページ以降は、プールの修繕等状況、スイミングスクールと学校の位置、先行事例などの資料となっております。「学校のプール」についての説明は以上でございます。ご協議をよろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>皆さんから、御意見等をお願いします。</p>
小川教育長職務代理者	<p>バスを利用してスイミングスクール等の施設に行き指導をしていただくこととなりますが、逆にスイミングスクールの指導者に学校へ来ていただくことは行っていますか。</p>
学校教育課長	<p>スイミングスクールに依頼して、学校に指導者の派遣を行っております。</p>
市長	<p>学校のプールは、維持費や修繕費などお金がたくさんかかります。市内全学校のプールの管理費は、膨大な金額となります。また、学校の先生が水泳を教えるより、スイミングスクールの指導者が教えた方が、効果もあり効率的であると考えます。</p> <p>ぜひ、できる学校からでも良いので、スイミングスクールでの水泳指導について、前向きに検討をしていただきたいと思います。子どもたちが泳げるようになれば、命が助かることがあります。</p>
松井委員	<p>外部の資源や指導者を活用することは、良いことだと思います。現実的にできる学校と中学校は難しい課題があると思います。</p>
小川教育長職務代理者	<p>相互利用の場合は、小中学生が同じプールで水泳授業をすることができますか。</p>
学校教育課長	<p>プールを浅くするなど対策が必要となりますが、城山学園では、中学校のプールを浅くするなどして小学生が水泳授業を行っております。</p>

<p>蓼沼委員</p>	<p>海老名市は、プール施設がないためプール授業を行っていないのですが、今後このような自治体が増えてくるのではないかと思います。坂戸市が水泳授業を行っていくことを先に打ち出すことも必要ではないかと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>今回の資料で、学校ごとに民間活用、改修、共同利用、現状維持の方向性を示させていただきました。この方向で進めることでよろしいですか。</p>
<p>市長</p>	<p>この方向で、さらにプラスして検討を進めて、民間活用等を実施できるように進めていただきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>ほかに御意見等はございませんか。 (なしの声)</p>
<p>市長</p>	<p>学校プールについて御協議いただきましたが、ほかにないようでしたら、以上で終了したいと思いますが、いかがでしょうか。 (異議なしの声)</p>
<p>市長</p>	<p>御協議いただきましてありがとうございます。 今後も本日の協議内容を踏まえ、教育施策を進めていただきますようよろしくお願いいたします。(3) その他について、ですが、意見等を含め何かございましたらお願いいたします。 (なしの声)</p>
<p>市長</p>	<p>ないようでしたら、以上で協議を終了します。御協議いただきましてありがとうございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>続きまして、次第4、その他についてですが、協議事項以外で御意見等を含め何かございましたら、お願いいたします。 (なし)</p>
<p>事務局</p>	<p>ないようでしたら、以上をもちまして、令和2年度第2回坂戸市総合教育会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>